



妙教寺だより

第34号

平成25年 元旦

瑞気 集門



平成二十五年

長流水癸巳歳

元旦

年頭のご挨拶

妙教寺第七世
元寇園教会第五世

順信院日薫
荒木英知

お正月会の宗祖の遺訓

十字(むしもち)一百枚か
し(菓子)ひとこ(籠)給び了
んぬ。正月の一日は日のはじめ
月の始め、としのはじめ、春の始
め。此をもてなす人は月の西よ
り東をさしてみつがごとく。日の
東より西へわたりてあきらかなる
がごとく。とく(徳)もまさり人
にもあいせられ候なり

重須殿女房御返事)

癸巳歳の新春を迎え、謹
んで賀詞を言上し、心から
御悦び申し上げます。

昨年は、檀信徒の皆様よ

り、當山の護持興隆の為、
や宗祖御降誕八〇〇年慶
讃記念事業などのご浄財
喜捨や、順忠院日貫上人の
内室坊守「順教院日英法尼
花田英」霊位の本葬儀のご
厚志を賜り、又、諸行事の
ご奉仕など、種々の高配に
対し心から御礼申し上げます。

現世安穩後生善処を目指し

日蓮大聖人さまは、新年
について、重須殿女房殿へ
宛てられた御書では、正月
の初めに大聖人様に御供
養申し上げた重須殿女房

の信心をめでられ、「日のは
じめ、月の始め、としのはじめ、
春の始め」など、一年の一
切の初めである正月を大
切に迎える人は、その志に
よって自身の福德を豊か
にすると共に、人からも愛
され慕われていくことを
述べられ、また、新しい年
を迎えたものの若くして
亡くなった子供が還るこ
とはなく、人生の無常さを
のべられた後に、法華経の
信仰を磨いて行かれるな
らば、必ず霊山(りょうぜ
ん)浄土で子供と相まみえ
ることができると仰せら
れています。生きていろと
きはもちろんのこと、亡く
なった後にもなお深い愛
情を抱いている母親の心
中を思われて、諄々と示さ
れるお言葉に仏の道にお
ける温かい情愛がしのば

れます。

御降誕七九二年目の正月は「心機一転」の時、真新し善心を求めて三毒（貪瞋癡の醜い心）の執着の心を捨去りたいものは、陰陽の善根功德をなせば必ずさかえ、陰徳あれば陽報ありと、「現世安穩・後生善処」の南無妙法蓮華經の道を示し、新春を迎え慶賀申し上げる次第です。

妙教寺の八百年慶讃運動

さて、日蓮宗宗門は、来る平成三十三年（本年より八年後）に私達日蓮宗信徒は、日蓮大聖人さまの御降誕八〇〇年の聖日をお迎えするにあたり、総本山身延山をはじめ、全国寺院においても、日蓮大聖人御降

誕八〇〇年をお祝する、慶讃諸事業が計画されております。

日蓮大聖人さまは、今から約七百九十二年前の貞応元年（一二二二年）二月十六日、本州の東の端、安房の国小湊（今の千葉県）で誕生されました。以来、お釈迦様の説かれた「法華經」の真理を身をもって証明され、生涯、お題目広宣流布に心血をそそがれました。

一切衆生をして、日蓮大聖人が身命をとじて命がけで弘通されたお題目によつて、全人類が等しく救われ、仏になれる道「法華經」へと開示悟入し、妙法流布に挺身された「お題目の神秘」を頂くご縁によつて、私共は、共生共栄の安穩の御利益を受けます。

此の度、妙教寺では、日蓮大聖人様への祖恩報謝の一端に擬せんと欲して、昨年の五月より「御降誕八〇〇年慶讃記念事業」の寄進勧募を発願し、皆様方より続々として、慶讃事業負担金の御志納を賜っております。慶讃委員会としては、本年四月より諸工事に着工したいと予定しておりますので、これからも、檀信徒の各位と共に異体同心し意を一つにして諸事業の円成に向かって、皆様方の一層のご支援を頂きご期待に添うべく精進いたします所存でございます。

また、日蓮宗福岡県管内においても、その慶節に向けて、福岡県宗務所並びに福岡県各寺院や東公園お銅像教会が中心となつて、西組門中会での、海上施餓鬼会やお題目の集い、など信行活動を通して「立正安

2021年（平成33年）

宗祖日蓮大聖人御降誕 800年

2028年（平成40年）

妙教寺開基開創 150周年

国・お題目結縁運動」で、「いのちに合掌」の信仰運動が展開されています。

特に、十一月十六日に、九州教区御親教で「立正安国・お題目結縁運動」の教宣拡張推進のため、このたび、日蓮宗総本山である「身延山久遠寺第九十二世法主猥下」が、博多の日蓮大聖人銅像護持教会まで御西下され御降誕八〇〇年慶讃記念信仰運動でのご教旨を賜りました。

但行礼拝の道



内野日総法主猥下
(日蓮宗新聞社撮影)

法主猥下のご親教では、宗祖の「立正安国」の願い

とは「法華経・お題目」信仰によって世界・国・家庭が安泰になる道こそ、「共生共栄」の心であり、一切衆生のいのちに合掌する「常不輕菩薩の修行方法」である「但行礼拝」を実践することこそ、宗祖は「汝すべからく一身の安堵を思わば、まず四表の静謐を祈るべきものか」と立正安国の願いであるとお示しで、「共に生き共に栄える心」このことに思いをいたすことは、つまり「但行礼拝」の姿であり、但（ひたすらに）、相手の人に礼拝合掌する修行によって、仏と成るようにならねばならぬ。自らに求菩薩道を志すことで、自分の命を支えてくれる食物のいのちに合掌（いただきます）し、敬いの心で、合掌で挨拶や合掌しあえる家族になりましょうとご教示いただきました。私共聖徒は、少しでも欲

望の三毒の心を抑え、相手の心の癒しとなれるように接して、仏さまのように生きていくように、年頭に当たり、そのような共生共栄の心を忘れずに、但行礼拝の信仰運動を実践し、一年のスタートをきりたいものです。

護持会会長に感謝

さて、この度、ご病気とご高齢を理由に、責任役員・護持会会長村上卯三様の辞任に伴い、昨年、本総代会を開き、今後の対応について討議され、ご退任に関する事は、次年度の護持会総会時まで、法人規則に則り、法人役員補欠選定を任職が後任総代を任命することを確認し、又、護持会規定に従って、護持会役



立正安国・お題目結縁運動

いのちに合掌



員補充について、慎重に討議されましたので、皆様へご報告申し上げる次第です。

皆様も承知の通り、村上様は、篤き御信仰よって昭和四十四年以来永きに亘り、護持会役員として御尽力を賜り、殊に五十九年より責任役員と護持会会長を併任され、法責の使命を全うされ「妙教寺の興隆発展」に尽力され、更に十有余年福岡県西筑組檀信徒協議会会長を歴任され宗門発展に誠心誠意御尽力を賜りました

その間、数々の事業推進や檀信徒信行増進の教化指導など、先代住職日貫上人や日賢上人の補佐を献身的に勤められ、妙教寺の寺門興隆の為に、本総代としての本分に心血を注が

れ、報恩行の誠を尽されました。



当山住職より感謝状を授与された前村上卯三筆頭総代

その、法績にたいして、當山の特別永代経位に叙し行徳を顕揚せんと欲し、その法勲に対し衷心より報いて、御礼申し上げます。第でございます。

法人新役員ご紹介

では、法人本総代役員補欠補充については、日蓮宗規則に副って、妙教寺住職代表役員の職務として、こ

のたび、責任役員筆頭総代と護持会会長並びに慶讃事業委員長に、護持会副会長を努められた、春日市昇町地区の「植村俊親」様に、残り任期二年間をお勤めいただきお願いいたしました。

また、新任本総代と護持会副会長並びに事業担当長に、當山の建築関係全般の護持に携わってこられた、事業担当長や護持会監査役員等御奉仕いただいている、太宰府市北谷地区の「臼井義光」様に、護持会活動諸般に携わってこられ、婦人会会長を歴任された、大野城市筒井地区の「古賀静枝」様に新任本総代に推挙申し上げますのでご報告いたします。

つぎに、先般、本総代及び護持会各会合同役員会

を開き、護持会役員補充選定に関して、護持会規約にそって登用するにあたって、事務局より、護持会会計監査員として、大野城市の乙金地区の「伊藤靖夫」様と春日市小倉地区の「白水敏幸」様に、護持会会計補佐に、春日市春日原地区の「城戸和夫」様に、信行会会長には、大野城市乙金地区の「伊藤敏夫」様に、慶讃事業委員に、福岡市地区の「三好康昭」様に、又、妙教寺たよりの編集長に當山の「高野英典」執事長に就任の推薦表明があり、全員一同の賛同を得て承認をいただきました。

護持会新役員に期待

これからは、宗祖御降誕八〇〇年慶讃事業の推進

に止まらず、當山の第五世日貫上人、第六世日賢上人、順教院日英法尼へのご報恩と受止め、「自分達の寺を護って行く、菩提寺を護って行く」を合言葉に、忍難慈勝の大恩に報い邁進し、護持会役員並びに慶讃事業委員会一同が護持護法に取り組んで行く事を確認いたしました次第です。

新任のお方はもちろん、全役員の方々には、特に宗門やお寺に対する護法護持の貢献度と信仰的、社会的、高齢化時代の変革に、充分に対処出来る御人格であられる方々であります。

最後に、本総代並びに役員との任とは、日蓮大聖人さまの勅命として受け止められ、宗祖のお言葉にあるように「異体同心」の心を

たいして、寺門興隆を第一義として、自己の信行と檀信徒教化に精進され、さらなる御奉仕行、お寺の年間行事及び信行会・婦人会行事の参加に徹していかれることと、固く信ずるもので御座います。

本年もまた、檀信徒の絶大なるご理解をいただき、各位の一層の御支援御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。南無妙法蓮華經

筆頭総代・慶讃事業委員長

植村 俊親

謹賀新年

日頃より護持会会活動に対し御理解御協力頂き御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りみま

すと、護持会の恒例行事の外に、

※五月にはかねてより進めてまいりました、御降誕八百年記念事業協力のお祝い書「趣意書」を檀信徒の皆様へ発送させて頂きました。沢山の方々にご協力頂きお蔭様で、御志納金も目標金額まであと一歩の所まで来ました。



寒修行で団扇太鼓を叩いて唱題修行する植村筆頭総代

現在、事業の具体的な段取りについて、話し合いを重ねており、三月～四月頃より各所の工事に取りかかりたいと考えております。

※六月(十七日)には、當山

第五世順忠院日貫上人御令室・順教院日英法尼(花田

英様)がご遷化され十八日通夜式、翌十九日密葬儀

※六月二十七日には日英法尼を親のように慕っておられた、豊橋市大法寺御住職 石橋卓定僧正を御導師にお迎えし、東公園銅像護持教会 主管 佐野前暁僧正をはじめ、西門中会御寺院・各ご法縁の御寺院様方、又多数の當山檀信徒の方々のご参列頂き、順教院日英法尼様の本葬儀が厳かに営まれました。

※八月十九日には、盂蘭盆施餓鬼会に合わせ、當山第六世順正院日賢上人の、第十三回忌法要が行われ、もうそんなな月日が経ったかと思ひ、在りし日の日賢上人の思ひ出を回らせました。

本年も護持会役員一同一

丸となりご住職を助け事業の円成と妙教寺の発展に邁進してまいります。何卒今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後に、本年も檀信徒皆様方の御健勝と御発展を心よりお祈り申し上げます。

南無妙法蓮華經

婦人会会長

古賀 静枝

謹んで新春の

お慶びを申し上げます。

私、今年五月をもちまして最後の出勤めになりました。長年にわたり御協力御支援下さいまして心より感謝致しております。又、日蓮聖人御降誕八百年記念事業運動にも心温まる御志納金を頂きまして有難うございました。つきましては、次期会長を、昨年より婦人

会副会長と会計監査をお務め頂いております仲畑地区の、村上英子様をお願いしたいと思っております。今後とも新会長を中心に皆様方の御協力をよろしくお願い申し上げます。

扱、寒い折今年も例年のように寒修行を一月二十日に行います。一人でも多くの方がご参加下さいますようにお待ちしております。

何事も皆様の御協力がなければ出来ません、よろしくお願い致します。皆様の御恩は決して忘れません、陰乍ら出来る限り協力させて頂きます。

寒い中御身体をくれぐれもお大事にして下さい。皆様と共に妙教寺発展の為、精進してまいりたいと思っております、宜しくお願い致します。

九州御親教法要
総本山
身延山
久遠寺
内野日総法主猊下を
お迎えして

信行会会長

伊藤 敏夫

昨年十一月十六日、福岡市日蓮聖人銅像護持教会に身延山高校仏教コース生徒並に僧道実修生を中心に約三十名の久遠寺の布教隊を伴われ内野日総法主猊

下がおみえになり、御親教法要が営まれました。

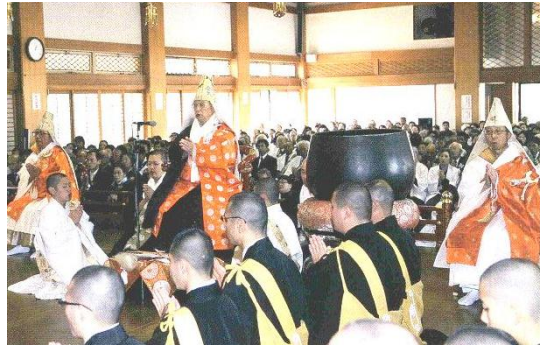
本堂周辺を三十名が木鉦と団扇太鼓をたたいて銅像前で唱題しながら集まり、内野法主猊下を迎えし大法要が厳修されました。

本堂に入られ道場偈・三宝礼・開経偈・方便品・自我偈・如説修行抄・唱題・宝塔偈の順に法要が進みました。

本堂には福岡県をはじめとして、長崎・佐賀・熊本県から約七百名の檀信徒の方々が参加され将来見ることのできない盛大な大法要でした。



唱題行脚する布教隊



内野法主猊下大導師による御親教大法要の様子
(東公園銅像護持教会於て)

そして、内野法主猊下が
参列者全員に「共生共栄」
と書かれた色紙を渡され、
法華経の行者としての一層
の精進に期待しますとのお
言葉を頂きました。

今は、仏壇の前に置き、
毎日拝礼させていただいて
おります。家内が拝むと「心
がすつきりして、わだかまり
がなくなり、これまでにない
前向きな心の変化が生まれ
ます」と喜んでおります。
東公園の日蓮大聖人の御銅

像は、竣工して百八年経ち、
国民がお互いに助け合い皆
が幸せになりますように、
雨の日も、風の日も両手を
差し伸べて私達を見守って下
さっておられます。

この様な環境の中でお題
目の唱題は大きな声を出す
ことができませんが、まだまだ
お施餓鬼法要の最低必要な
おつとめのお経文の半分位
しか覚えていません。少しで
も沢山のお経を覚えお唱え、
することにより、先祖供養
ができ、自分の心が和らぎ
皆様に感謝する気持ちを持
てたいと願っています。

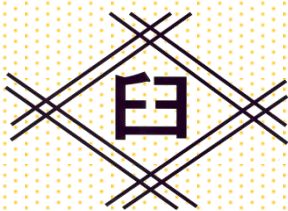
最後になりましたが、昨
年末にお知らせしました様
に、信行会では一月と八月
を除いて十ヶ月間第一日曜
日祈祷祭終了後正午より
法話他勉強会を実施するこ
とになりました。(十二月は

特別講演となります)参加
者も高齢になり病気等で出
席できない方もおられ参加
者が少なくなっています。



檀信徒総会にて信行会会長
就任の挨拶をする筆者

日蓮大聖人は、諸法実相
抄の中で「行学の二道をはげ
み候べし、行学たえなば仏
法はあるべからず」と教示さ
れておられます。つきまして
は、折角作られた信行会を
有意義なものとし又、少し
でも活気づける為に私自身
も檀信徒の皆様と一緒に勉
強していきたいと思えますの
で、年齢を問わず誰でもお
気軽に参加して頂きますよ
うよろしく願います。



早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有)白井組

建設業

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9

TEL 092-932-7397



山務員
高野 英一



執事長
高野 英典



住職・代表役員
荒木 英知

妙教寺役員紹介



総代・婦人会会長
古賀 静枝



筆頭総代・護持会会長
慶讃事業委員長
植村 俊親



山務員
松尾 英勝



護寺会会計監査
白水 敏幸



総代・護寺会副会計
慶讃事業委員会会計
松尾 勝次



総代・事業担当長
白井 義光



総代・護寺会会計
花田 正月



慶讃事業委員会委員
並に会計補佐
城戸 和夫



慶讃事業委員会委員
白水 繁則



信行会会長
慶讃事業委員会委員
伊藤 敏夫



護寺会会計監査
伊藤 靖夫



婦人会会計
樋口 美智子



婦人会副会長
婦人会会計監査
村上 英子



婦人会副会長
船越 絹子



事業委員会委員
三好 康昭



信行会副会計
藤目 久美



信行会会計
婦人会会計監査
高原 靖子



婦人会役員
原田 純子



婦人会役員
信行会役員
手島 悦子

妙教寺
ホームページ公開

検索アドレスは、
myoukyouji.jp



信行会役員
有岡 栄子



信行会役員
高野 スミ子



信行会役員
川迫 清子

宗祖日蓮大聖人御降誕八百年慶讃記念事業実働へ

慶讃記念事業に御理解御協力を賜わり、心より御礼申し上げます。

現在続々とお申込み御志納頂いておりますが、御志納は銀行振込みでも
受付をさせて頂いておりますのでご利用ください。

福岡銀行 春日原支店 普通 1617816
宗教法人 妙教寺 代表者 荒木英知

宗祖日蓮大聖人御降誕八百年記念事業委員会

日蓮大聖人のおことば ⑩

崇峻天皇御書

一代の肝心かんじんは法華経、

法華経の修行の肝心は

不軽品ふきようほんにて候なり。

不軽菩薩の人を敬ひしは

いかなる事ぞ。

教主釈尊きようしゆんの出世しゅつせの本懐ほんかいは

人の振舞にて候けるぞ。

あなかしこ、あなかしこ。

賢けんきを人といひ、

はかなきを畜ちくといふ

(建治三年 聖壽五十六歳)

現代語訳

仏一代の肝心かんじんは法華経であり、法華経の修行の肝心は不軽品である。不軽菩薩が路上に立って通行人を礼拝したのは何のためであったのか。

教主釈尊きようしゆんの出世しゅつせの本懐ほんかいは、こうした人としての平素の行動を教えたものである。よくよくお考えになられよ。

賢いものを人といい、愚かなものを畜生ちくじやうというのである。



常不軽菩薩像

最近よく話題になって
いる「いじめ問題」、学校

のみならず会社・地域社会にまで及んでいる。他にもDV(家庭内におけるパートナー間における暴力行為)、虐待、セクハラ、パワハラ、ストーカー等など、どれも強い立場の者が弱い立場の者を精神的・肉体的に傷つける行為である。

よく、義理・人情をわきまえない乱暴で不道徳な人間の事を動物にも劣る「獣(けだもの)」と言う。畜生といわれる動物にもルールがあり、それを守る限り「いじめ」とか「虐待」などはない。

人の心は厄介なもので地獄の心から仏様の心まである恐ろしい生き物である。それだけに人の心の道案内として法華経の教えが重要となってくる。

ここに挙げた「崇峻天皇

御書」の中に出られる常不
輕菩薩は出会う人すべて
（四衆）に対して「我深く汝
等を敬う。敢（あえて）輕慢
（きょうまん）せず。所以
（ゆえ）は何（いか）ん。汝等
（なんだち）皆菩薩の道を行
じて当に作仏すること
を得べし」という言葉をも
つて礼拝し、菩薩道を行じ
て、その結果いずれの時に
か必ず成仏するというこ
とを根拠とし、礼拝を続け
ました。

信行会より

祈願・祈禱とは
なんででしょうか

◆人の欲望の数だけ

「願い」はありますが・・・

私たちがふつう祈願・祈
禱という場合、それはご守

まさしく現代社会に最
も欠けている、相手に対し
ての「敬いの心」ではない
でしょうか。特に私達法華
経を信奉し、日蓮聖人の末
弟子である私たちは、但行
礼拝の精神をもって「合掌
礼拝」を実践し、自らの慢
心を改め、まわりの人達に
もこれを進めるべく活動
を始めなければなりません。
（各資料書参考）



護神やあるいはお祖師さま
にたいして、病気が治るよ
うに、心願がかなうように
などと、お願いすることを
さしています。

病気で寝こんでしまっ

は仕事もできません。妻子
を養っていくこともかない
ません。そのために当病平
癒（現在かかっている病気が
治る）を願って諸仏・諸天
に祈ることは、切実な問題
です。またこのような病氣
にかからないように、健康
を維持できるようにと、身
体健全をお願いすることも
大切なことでしょう。その
ためいよいよ熱心に信仰に
励むことになってきます。
さらに、健康だけではいつ
交通事故にあわないともか
ぎりませんから、交通安全
を祈ります。商売が順調で
あるようにと、商売繁盛、
子供の行末を考えたら、受
験合格に良縁成就、それだ
けではまだまだ足りずに、
家門繁栄、子孫長久……。こ
れでは限りがありません。
考えてみると、守護神へ



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店

仏壇・仏具・寺院用具寺院納骨堂設計施工



本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092) 271-0456 • FAX (092) 271-0464

工場 〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092) 806-7499 • FAX (092) 807-1079

◆ E-mail umetani@umetani-jp.com

◆ HP <http://www.umetani-jp.com>

のお願いというものは、人の欲望の数だけあるはずで、す。信仰するということが守護神にお願いすることならば、信仰とは欲望を満足させるための手段にすぎないことになってしまっています。どこかへんですね。

◆本当の信仰による

祈願とは？

それでは、本当の信仰とはどのようなものなのでしょうか。本当の信仰による、祈願・祈祷とはどんなものなのでしょう。

宗祖、日蓮大聖人も、祈祷をなさっています。四条金吾夫妻とその子にお守りや護符を授け、あるいは厄除けの祈祷を修したり、厄年についての説明をしたりなさっています。また文永元年(一二六四)、房州小湊

の母を訪ねられたとき、母はちようど病気のため息を引き取られたところで、大聖人は母の命を引き戻したまえと祈り、その効験は著しく、母は息を吹き返して、さらに四カ年の寿命をながらえることができました。



慈母の治病を祈られる日蓮大聖人

このことは『可延定業御書』という、大聖人御真筆の御書に明記されており、よく知られています。

聖人は『祈祷鈔』に、

「大地は指さばはづるとも、虚空をつなぐ者はありとも、潮のみちひぬ事はありとも、日は西より出るとも、法華経の行者の祈のかなはぬ事はあるべからず。法華経の行者を諸の菩薩人天人八部等、二聖・二天・十羅刹等、千に一も来てまほり給はぬ事侍らば、上は釈迦諸仏をあなづり奉り、下は九界をたばらかす失あり。行者は必不実なりとも智慧はをろかなりとも、身は不浄なりとも、戒徳は備へずとも南無妙法蓮華経と申さば必守護し給べし。(中略)とくとく利生をさづけ給へと強盛に申ならば、いかでか祈のかなはざるべき。」

と、法華経・お題目をひたすら信じて、利益を授け給えと申すなら、法華経の行者の祈りのかなわなないことがあるうかと、説かれてい



心と心のふれあいを大切に







株式会社 松下仏壇店

熊本店／熊本市上水前寺1-12-12 (東パイン熊工前)
 玉名店／玉名市中1832 (玉名高校前)
 山鹿店／山鹿市大橋通り404
 本店／大牟田市上町2-2-4 (上官通り)

お安い費用で、お仏具修復

096-384-5666
0968-74-4840
0968-43-5665
0944-56-3675

<http://www.matusita.net>



熊本店

ます。」ここで肝要なことは、「法華經の行者の祈り」ということなのです。

法華經の行者の祈りは必ずかなえられます。

正しい信仰をもった法華經の行者の祈りは確かになえられます。それはなぜかといいますと、法華經の行者は仏の理想を我が理想として、その実現のために励む人であり、仏とは、あらゆる苦を超越した人であり、周囲に幸福をもたらす人であるといえます。このような仏にすべての人となることこそ法華經の理想なのですから、諸仏・諸天がこの行者を守護してください。さることは当然のことであり、諸仏・諸天のつとめともいえるわけです。

す。延命をどんなに祈ってみても、永久に生き続けることはできません。また事故で失った足が再び生えてくるといふこともないでしょう。ご祈禱は絶対的なものではありません。

だからといって、ご祈禱は意味のないものだということではありません。足の代わりになるものを授けていただくかもしれないし、不自由さを感じない生活を与えてくださるかもしれない。あるいは不自由を克服する、大いなる自由の心をもたらしただけかもしれない。精神的にか、物質的にか、目に見えるかたちでか、見えないものでか、はわかりませんが、かならずやご守護はあり、祈りは成就されるのです。日蓮聖人は「只肝要はこの經の

新人を致し給い候わば現当（現在と未来）の諸願満足あるべく候」といっておられます。



各家勸請の守護神様を祈禱する住職上人（中央）



新春星祭りにて檀信徒の各方々に祈禱する住職上人

それと同時に、自ら苦を超越できる仏となるよう励まなければなりません。そのための道が法華經の行者としてのあり方なのです。法華經を信ぜず、ただ自分

勝手な幸せや商売繁盛、病氣平癒を願ってもかなえられないのは、このためです。法華經の行者として生きていくことこそが、仏になるための直道であり、また守護の根源なのです。

法華經の行者というたいへんなことにおもいますが、要は自分ひとりだけのことをいとおしむのではなく、だれもがみな幸福になれるようにと心に願い、行動していくことが大切なのです。

祈禱祭に参詣のときは、ご本尊、ご守護神の前で、心新たに自身の信仰の姿を確認し、まずだれもがみな幸福になれるよう、また自身もより深い味わいある人生を送れるようお祈りしたいと思います。

（各書簡より）

一口説法

「ここだけの話」

「ここだけの話だよ」、よく聞く言葉です。しかしこれほどいい加減な言葉はなく、ここだけで納まることはまず稀でしょう。

人間はだれしも、あれこれと他人の批判をすることが好きなようです。そのくせ自分のことを言われると、とても気になるもので特に陰口を言われると何とも腹立たしいものであります。

他人の陰口・悪口というものは、最高の調味料となり、どんな粗食でも「馳走に変

えてしまうから不思議です。

ここで聞いたことをほかで話さないようにすれば、人に争いを起こさせることもなく、

口害で人を傷つけることや落胆させることもないということとは、充分承知しているはずなのですが……。

中国の諺に「病は口より入り、禍は口よりいず」とあります。

また、日蓮聖人は『重須殿女房御返事』の中で「わざわざいは口より出でて身をやぶる、さいわいは心よりいでて我をかざる」と仰せられ、なまじ余計なことを言えば、そのために禍を招くものであるから気をつけなさい、と諭されておられます。

世の中には親しくつき合っているうちにはいいのですが、いったん不仲になると途端に、相手の、あること・無いことを言い出す人もいます。笑いがオチとなる罪のない話ならいいのですが、中傷はいけませんよね。

他人の欠点や過失を指摘したり、吹聴する時は、自身自身の気持ちに潤いの無いときであり、人を誇った後は何となく空しい気持ちになるものです。

いずれにしても「口は禍のもと」であり「沈黙は金」なのです。そして、人の陰口や悪口を言っただけではいけないのもちろんですが、もっと大切なのは聞いた話を第三者にもらさない「ここだけの話」にして、しまっておくことを心に留めておきたいものです。

(「日蓮宗テレホン説教法話集」より)

(有) 広栄堂龍仏具店



各種仏壇・仏具お取り寄せ
出来ます。ご気軽にご来店
下さい。

福岡県大野城市錦町 2-2-3

TEL FAX **092-582-7676**

定休日/毎月 5・15日

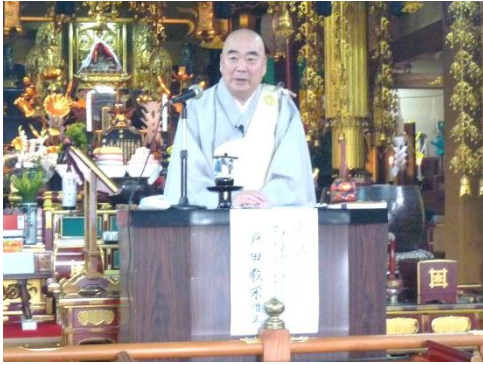


投稿欄

春日市昇町地区

植村

徳めぐみ



信行会主催特別講演にて法話をされる 戸田教栄上人

十二月二十三日、お施餓鬼総供養の日、恒例の信行会主催による特別講演が行われました。今回は、日蓮宗霊断師会指導局局長・神奈川県小田原市本典寺御住職 戸田教栄上人です。たくさんの檀信徒の方と一緒に聞かせて頂きました。

最初は配られた資料を見て難しいお話かと思つていましたが、お話が進むにつれて先生の熱意あふれるお話にだんだんと引き込まれ、周りの檀信徒の方々も聞き入る目が輝き始め、いつの間にか身を乗り出して聞いておりました。

今回、お話を聞かせて頂き、私なりに心に残つた事、感じた事を述べさせて頂きます。

五濁悪世ごじよくあくせと云われる末法に於いてお題目を唱え持つことよつて至福の人生を生きることが出来る。

しかし、お題目を持つ自分自身が悪縁にたばらかされ、事にふれてうつりやすき物であつてはいけない。

日蓮大聖人が四大法難に遭つても法華経の教えの正しさとそのご守護を霊験奇

跡によつて示されました。

「現世安穩 後生善処」この世界に導いていただく菩提寺とお上人様に感謝を申し上げ「祈り、悟り、行い」を日々心がけ、日常生活に於いて真剣にお題目を唱え、ご先祖様からの繋がりが親から子、子から孫へと信仰のバトンタッチが出来る様日々を送り、お題目の輪を広げていける自分になれる様日々努めていきたいと思ふようになりました。



大太鼓を叩いて唱題修行をする筆者の植村さん

意義ある一日、本当にありがとうございました。南無妙法蓮華経



スマイル車検

民間車検工場
井上自動車株式会社
福岡市博多区麦野 1-1-38
TEL : 092-581-4607
FAX : 092-581-4796



信行会年間行事予定

実施日 毎月第一日曜日
 祈祷祭終了後
 午後12時より

- 1月 休会
- 2月 法話
- 3月 お経の練習
- 4月 法話
- 5月 仏事作法
- 6月 法話
- 7月 写経
- 8月 三沢清正公堂
大掃除の為休会
- 9月 DVD法話
- 10月 法話
- 11月 DVD法話
- 12月 施餓鬼総供養会の日
に信行会主催で来賓
講師による特別講演
を行います。



写経修行の様子



法話会の様子

※老若男女どなたでもお気軽にご参加下さい。
 ※日程は変更のある場合があります。事前の案内をご確認ください。

地方発送承ります



笑顔合せ 2,100円

ひよ子、ひよ子サブレー、ピナンシェ詰合せ

檀信徒様のお買い上げは、当店に限り10%引きとさせていただきますので、お気軽にご来店下さいませ。お待ちしております。

名菓 **ひよ子** イオン大野城店
 大野城市錦町4丁目1-1
 イオン大野城1階

TEL FAX 092-592-2126



1箱(18本入り) 1,050円

ひよ子
ジャイアントポッキー
 クッキーに
 名菓ひよ子のあんを練りこんで
 美味しくできました



ひよ子
マカダミアチョコレート

1袋
 (3個×6包入)
840円

行事スナップあれこれ



9/27 糟屋郡須恵町法華寺に於て西門中会主催「お題目のつどい」に当山より8名参加しました。



8/4 順教院日英法尼、忌明け・納骨式が正干与人久留米市妙正寺御住職田中潮佑僧正の御導師の下、厳肅に営まれました。



10/3 久留米市石橋文化センターに於て筑後地区門中会主催の川施餓鬼大法要にお題目の集いに当山より28名参加しました。



10/1 浄行様後方のお会式桜が咲き始めました。



11月上旬 川久保地区船越順一家より、懸崖作りの菊鉢をお供えして頂きました。



11/7 志賀島元寇園教会の芋ほり会、今年は小粒ながら沢山取れました。後日皆様にご供養致しました。



10/14 お会式桜つくり 役員並びに檀信徒有志約20名のご協力を頂きお会式桜が本堂内にきれいに咲き誇りました。



12/27 お正月御宝前並に諸堂お供え餅の餅つき会、約20名の役員・檀信徒有志の皆さんの御協力を頂きました



12/23 信行会主催特別講演の様子

12/2 三沢清正公堂に有志の方により手摺りが設置されました



平成25年行事予定(1月～8月)

◎1月20日(第3日曜)
午前10時より

・婦人会主催寒修行

◎2月3日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭、節分追儺会

◎2月24日(第4日曜)
午後1時より

・月施餓鬼供養会

◎3月3日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎3月17日(日)～23日(土)
早朝より

・春季彼岸棚経廻り

◎3月24日(第4日曜)
午後1時より

・春季彼岸施餓鬼供養会

◎4月7日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎4月14日(第2日曜)
午後1時より

・花まつり 釈尊降誕会

・月施餓鬼供養会

◎5月5日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎5月26日(第4日曜)
午後1時より

・月施餓鬼供養会

・各家勸請守護神祭

・平成25年檀信徒総会

◎6月2日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎6月16日(第3日曜)
午後1時より

・月施餓鬼供養会

・順教院日英法尼

一周忌法要

◎7月7日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

◎7月21日(第3日曜)
午後1時より

・土用丑秘法ほうろく灸

祈禱会

・月施餓鬼供養会

◎7月28日(第4日曜)
午前9時より

・盆前大掃除

◎8月5日(第1日曜)
午前10時より

・月祈禱祭

午後12時より

・三沢清正公堂大掃除

◎8月7日(水)～15日(木)
早朝より

・孟蘭盆棚経廻り

◎8月18日(第3日曜)
午後1時より

・孟蘭盆施餓鬼供養会

※行事予定日・時間は、変更させて頂くことがありますので、事前に発送します案内でご確認下さい。

◎毎月第1日曜日は

・信行会 (12時より)

(8月・12月・1月は

諸行事の為休みます)

・12月の信行会は特別講演となります

・三沢清正公堂お参り(午後より)

《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

○近代的格調高い

○耐久性にすぐれる

○御先祖様をおまつりするのに
相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。
※詳しくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目一番二七号

春日山 妙教寺

〇九二(五八一)一二六六